

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	技術英語Ⅱ			
科目基礎情報							
科目番号	K0701	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	制御・情報システム工学専攻	対象学年	専2				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	Basic English for Science (南雲堂)						
担当教員	石出 忠輝						
到達目標							
1. 英語で書かれた科学・技術論文における特徴的な英語表現を理解し、専門分野に関する情報を英語で表現できる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	英語で書かれた科学・技術論文における特徴的な英語表現を理解し、専門分野に関する情報を英語で表現できる。	語で書かれた科学・技術論文における特徴的な英語表現を理解できる。	左記ができない。				
学科の到達目標項目との関係							
専攻科課程 C-3 JABEE C-3							
教育方法等							
概要	本授業は、企業で航空機開発の業務を担当していた教員が、その経験を活かし、国際会議等における学術論文の作成及びプレゼンテーションに必要な実用的英語表現について講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	教科書に沿って、英語による対話方式の講義を進めていく。 毎週、復習し、応用力を高めるための宿題を課す。						
注意点	インターネットやテレビ番組等を用いて英文コンテンツに毎日接し、英語に慣れることができることが肝要である。 授業で取り上げた英語表現を繰り返し音読し、日々の研究活動の中で積極的に取り入れていく姿勢が望まれる。 不明な点がないよう各自しっかりと復習し、わからなければ隨時質問に訪れる。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業				
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	物体の形状や大きさ、様々な角度と線についての英語表現ができる。				
		2週	基本的な数式の読み方を説明できる。				
		3週	ギリシャ文字を含む複雑な式の読み方を説明できる。				
		4週	物の位置を表す前置詞、動作を表す動詞、方向を表す副詞句を説明できる。				
		5週	物質の性質を表す英語表現ができる。				
		6週	物質の分類、定義を表す英語表現ができる。				
		7週	物の描写の英語表現ができる。				
		8週	第1~7週までの復習を行い、理解度を高める。				
前期	2ndQ	9週	指示を与える動詞やプロセスの説明の仕方に関する英語表現ができる。				
		10週	原因と結果、ものを比較・対照する英語表現ができる。				
		11週	結果を予想・仮定する英語表現ができる。				
		12週	英文によるレポートの書き方を説明できる。				
		13週	英文による結論の述べ方、実験内容の記述の仕方を説明できる。				
		14週	英文による実験結果の述べ方を説明できる。				
		15週	第9~14週までの復習を行い、理解度を高める。				
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	30	0	0	0	0	70	100
基礎的能力	30	0	0	0	0	70	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0